

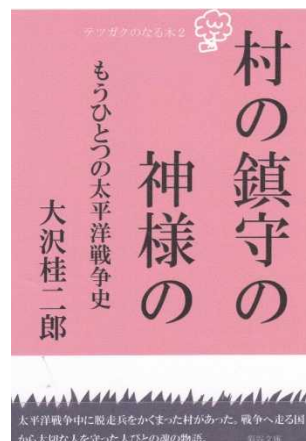
# 『村の鎮守の神様の—もうひとつの太平洋戦争史』

著者 大沢桂二郎

2014年8月中旬発売 定価1000円+税 発行 菊谷文庫

——太平洋戦争中に脱走兵をかくまった村があった。戦争へ走る国と闘い、大切な人を守った人びとの魂の物語。戦争文学の傑作がここに誕生。

太平洋戦争中、自分たちの郷(くに)を愛し、脱走兵を守り切った村びとたち。国と闘って生き延びた村と、村の鎮守さま。史実にもとづいた展開で、永い歴史のなか、いくつもの戦の世を生き抜いてきた、民衆の知恵と叡智の結晶を生き生きと描き出した戦争小説。“どんな逆境のなかでも希望をもって生きられる” 菊谷文庫「テツガクのなる木」シリーズ第二弾。



## 《本書の魅力》

- ◎史実にもとづいたフィクション(小説)。読む人を納得させる展開です。
- ◎“哀れで悲惨な反戦”という戦争や反戦のイメージをくつがえし、ポジティブで前向きな反戦のかたちを提示します。
- ◎地域やふるさと、大切な人をどう守っていくのか、についてのイメージに溢れています。
- ◎国家や社会が暴走しかねないこれからの時代に、人びとがどう対抗していったらいいのか、についてのヒントを与えます。

## 《目次》

- |   |                      |
|---|----------------------|
| (1) 村に影が／(2) 奉納相撲／(3) 蝶の道(4) 徴兵制度／(5) 服従せず／ | 著者プロフィール             |
| (6) 巡査は敵か味方か／(7) 生き延びる人々／(8) 御寝所／           | 大沢桂二郎。1936年新潟県生まれ。   |
| (9) 憲兵なんか殺せ／(10) 後日談                        | 著書『布留散東の良寛』(菊谷文庫)など。 |

ご注文は菊谷文庫へ TEL・FAX049-298-7624 (E-mail:kikuya10@gmail.com)

〒350-1103埼玉県川越市霞ヶ関東4-6-17